

安全に関する改善事例

記入日: 2005年 10月 27日
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m ³)
滝川ダム	福島県	福島県	G	74.3	213.0	275,000
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	ダム土工	交通事故	人的要因、設備要因	過積載	有: (無)	

改善の概要: 過積載防止の管理
 掘削残土300,000m³を公道を利用して運搬する際の10tダンプトラックの過積載防止管理について、全台数の積荷姿の確認を実施し、かつ定期的に簡易トラックスケール計量をおこなうこととした。
 この結果、土石、岩石に関わらず、積荷姿の確認が有効な管理手法であることがわかった。


メリット: ・積込時にチェックできることから、運搬サイクルに影響を与えない。初期の段階や土質が変化した場合に、トラックスケール計量値と積荷姿を確認することで管理できる。	デメリット: ・積荷姿チェックの労務費が発生する。 ・簡易トラックスケールの使用料がかかる。
--	---

改善前 (略図または写真)

当初の管理方法

- ・ダンプトラックの自重計による管理

短所: 計量値バラック
 地盤の水平性で誤差が生じる。
 各車両によって精度が違う。



10tダンプトラック自重計

改善後 (略図または写真)



積荷姿チェック



簡易トラックスケール計量